

事前評価調書

I 事業概要																																							
事業名	道路事業（道路改良事業）																																						
地区名	一般県道 太田中原線																																						
事業箇所	豊橋市中原町地内																																						
事業のあらまし	<p>一般県道太田中原線は、東三河地域の中核都市である豊橋市東部と静岡県湖西市を結ぶ重要な路線である。</p> <p>このうち当該工区の前区間は既に整備済みであるが、当該工区は幅員が狭小であるため、歩行者と車の分離もされていない状況である。また、通学路にも指定されていることから、学童の安全確保からも、早急に整備する必要がある。</p> <p>「交通安全対策の推進」、「渋滞のないスムーズな移動空間の確保」を目的に、当該工区を整備することにより、地域間を結ぶ交通ネットワークを形成するとともに、交通の円滑化及び歩行者等の安全性の向上が期待されることから、整備を実施するものである。</p>																																						
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>①交通安全対策の推進</p> <p>②渋滞のないスムーズな移動空間の確保</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>																																						
事業費	事業費		内訳																																				
	4.2 億円		■工事費 1.4 億円、■用補費 2.5 億円、■その他 0.3 億円																																				
事業期間	採択予定年度	平成 27 年度	着工予定年度	平成 27 年度	完成予定年度	平成 31 年度																																	
事業内容	現道拡幅（2/2 車線） L=0.3km W=16.0m																																						
II 評価																																							
①事業の必要性	1) 必要性	<p>①交通安全対策の推進</p> <p>通学路にも指定されているため、学童の安全確保からも早急な整備が必要である。</p> <p>②渋滞のないスムーズな移動空間の確保</p> <p>前後区間は既に整備済みであるが、当該工区は幅員が狭小であるため、歩行者と車の分離をするような道路整備が必要である。</p>																																					
	判定	A	<p>A： 現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。</p> <p>B： 現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。</p> <p>【理由】</p> <p>交通の円滑化及び歩行者等の安全性の向上のために整備が必要であるため。</p>																																				
②事業の実効性	1) 事業計画	<p>事業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td>←</td> <td></td> <td>→</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地・補償</td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td>→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費（億円）</td> <td colspan="5">4.2</td> </tr> </tbody> </table>							H27	H28	H29	H30	H31	工種区分	調査・設計	←		→			用地・補償	←			→		工事				←	→	事業費（億円）		4.2				
			H27	H28	H29	H30	H31																																
	工種区分	調査・設計	←		→																																		
用地・補償		←			→																																		
工事					←	→																																	
事業費（億円）		4.2																																					
2) 地元の合意形成	地元から要望もあり、地元の合意形成が図られている。																																						
判定	A	<p>A： 事業計画の実効性が期待できる。</p> <p>B： 事業計画の実効性が期待できない。</p>																																					

		【理由】 円滑な事業執行環境が整っており、事業の実効性が確保されているため。
Ⅲ 対応方針		
事業実施が 妥当である	事業実施が妥当である。：上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。	
Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容		
■対象（事業完了後5年目） <input type="checkbox"/> 対象外 【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】 【主な評価内容】 工事実施前後のスムーズな移動空間の確保及び歩行者の安全性の変化		